

9月
23^土
24^日

Chào đón/ 欢迎 /환영

12:00~19:00

生野区新今里

両日とも、リニューアルオープン
(内覧会) とささやかな茶話会を
開催します。
ふらっと、お気軽にお立ち寄り下
さい。

オープニングイベント

★ケセランぱさらん音曲

パラダイスショー&

渡部八太夫

(23日 13:00~ 練り歩き

14:00~ライブ)

★ちすん&すだっちライブ

(24日 12:30~)

入場無料

セツパラム文庫の開館

毎週土曜・日曜の

11:00~18:00

内覧会・茶話会

リニューアルオープン
猪飼野セツパラム文庫

朝鮮／韓国／在日を知ろう！
誰もが利用できる
みんなのまちの人権図書館



猪飼野から世界へ⇄世界から猪飼野へ
NPO法人猪飼野セツパラム文庫
大阪市生野区新今里 2-9-16 090-9882-1663

【猪飼野 / 生野区を元気にする、出会いと学び合いの場としての図書館を】

古代大阪は、上町断層による上町台地と生駒断層による生駒山地を除き、ほとんどが海でした。その後、長い時間をかけ、大阪の北と南を流れる旧淀川と旧大和川が土砂を運び、徐々に大阪平野になっていきました。そこに船に乗って朝鮮半島からの渡来人（特に百済から）も多くやってきました。近代以降は、1923年、植民地下の済州島と大阪をつなぐ定期航路「君が代丸」の就航により、多くの済州人が大阪へ移住してきました。そのため、現在もこの地域は済州島出身者が多く暮らします。地区を南北に流れ、たびたび氾濫を起こす平野川（百済川とも）の改修工事（1930年前後）にも多くの朝鮮人労働者が従事しました。

「猪飼野」は戦前戦後、東成区・生野区にまたがった地域の地名で、植民地期から在日朝鮮人の集住地域として知られました。しかし、日本人住民の陳情により、1973年に町名改正で、地名としてはなくなりました。

東淀川区から天王寺区、そして生野区猪飼野へ。

1980年代から90年代にかけて、この付近には数々の朝鮮 / 韓国 / 在日に関する類縁機関（猪飼野朝鮮図書資料室・学林図書室・青丘文化ホール・カラ文化情報センターなど）がありましたが、諸般の事情でなくなってしまいました。そこで、「猪飼野セツパラム文庫」の登場です。

当文庫のはじまりは、コリアン・マイノリティ研究会の活動拠点として、2010年春に東淀川区淡路に開設した「陰陽連絡線セツパラム文庫」でした。5年間運営したのち、【誰もが利用できる、みんなのまちの人権図書館「猪飼野セツパラム文庫」】（セツパラム / 셋바람とは朝鮮語で「東風（こち）」を意味し、“新しい風”の意味も重ねています）と改称し、2015年5月に天王寺区細工谷に移転し、研究者のみならずたくさんの方々にご利用いただきました。

今後は猪飼野に根差した、親しみやすく誰でも気軽に利用していただける文庫として、あり続けたいと思っています。

「猪飼野セツパラム文庫」の活動にご協力・ご支援を

そしてこの度、「猪飼野セツパラム文庫」はついに、その名のとおり「猪飼野」に隣接する、生野区新今里のもと「辻本写真館」へ移転しました。この写真館は、1925年の創業から2018年の廃業までの93年もの間、地域住民の方々に親しまれてきた場所です。

移転に先立って、イベントとして、昨年2月には伊藤孝司写真展「平壤の人びと」大阪展を開催し、地元をはじめ全国各地から900名近くの方々にご来場いただきました。

「猪飼野セツパラム文庫」は、2023年9月23日にリニューアルオープンします。念願の生野区で心機一転、再スタートを切ることになり、スタッフ一同、期待に胸を膨らませるとともに、楽しい活動を皆さんと一緒に始められればとの思いで一杯です。

ますますのご支援・ご協力をお願いします。

NPO法人猪飼野セツパラム文庫

（開館日：毎週土曜・日曜 11:00～18:00 入館無料）

〒554-0001 大阪市生野区新今里 2-9-16

近鉄奈良線「今里駅」下車、南西に徒歩5分

大阪メトロ「今里駅」下車、東南に徒歩13分

大阪コリアタウンから徒歩13分

新今里公園（通称：新地公園）北側

HP <https://sepparam-bunko.jimdofree.com/>

連絡先：090-9882-1663 masipon@nifty.com

